

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

地域に守られる子どもたち

千鳥小学校校長 角田美枝子

千鳥小学校の子どもたちは、豊かな子どもらしい心を育てています。その源は「友達との遊び」にあるようです。放課後、学校の門扉やフェンスは、一度家に帰った子どもたちの待ち合わせ場所となっています。学校周辺の公園等で遊ぶ子どももいれば、友達の家に遊びに来る子どももいます。そして、子どもたちの安全を守っているのは「あんしんわがまち子ども110番の家」のステッカー(下図参照)を貼った、日中も在宅してくださっている七十四軒の家の方々です。また、このステッカーの計画を立ててくださった本校PTAの皆様の尽力と、それを支え協力してくださった各町会及び地域の皆様のおかげです。これまで、私たち日本人の多くは「安全と水はただ」という受け止め方をしてきたように思います。けれども、今日のように予測できない様々な事件が多発する社会では、地域の宝である子どもたちを地域ぐるみで守ることが急務となりました。それを実践に移すべく、ださっている保護者・地域の皆様は心よりお礼申し上げます。

「あんしんわがまち子ども110番の家」のステッカーに守られて育つ子どもたちは、善意の尊さに気づき、自分が住む町への愛着を抱き、いっそう豊かな心を育てていくに違いないと思います。

平成十二年五月十九日(金)

司会

皆さま方のお忙しい中をお集まりくださいます。今日は昨年十月より始まった「子ども110番の家」について、現在の状況と夏休みに向けて、子どもたちの安全を守るために私たちがどういう点に気をつけたいのか、ということなどを皆さんと話し合いたいと思います。

角田

皆様には日頃から本校の子どもたちのために色々とお力添えくださいます。ありがとうございます。今年一月の着任以来、学校周辺の「子ども110番の家」のステッカーを見まわして千鳥小の取り組みの速さに感激いたしました。

あんしん わがまち
子ども110番の家



熱心な座談会の様子

おかげをもちまして子どもたちが安心して登下校したり、放課後地域で遊ぶことができ、感謝しています。これからも「親・地域が子どもを守っていかねばならない時代です。今後とも子どもたちのために力を添えようと思います。」



幸地

池上署管内では七割くらいは小学校がステッカーに取り組んでいます。今のところ事件で飛び込んだという報告は受けておりませんが、これは統計は出ておりませんが変質者が多かった地区でも以前に比べると減っており、ステッカーによる抑止効果があるように思われます。千鳥小では昨年の十月より校区七十四軒の方が、ステッカーを貼り協力してくださっています。その取り組みが不審者につけられたり、性的な嫌がらせを受けるなどの被害が発生しているというところでした。この問題を深く受け止めてこのような被害から守り、安心して育てられる環境を作りたくと考えました。そこで校区の町会や保護者に呼びかけましたところ、快く申し出をお引き受けくださり、ステッカー作成の費用の負担や「110番の家」のご紹介もしていただきました。非常に迅速に取り組むことができました。

松嶋

昨年六月に取り組み始め、十月にはステッカーを貼れ、校区的な町会の方々が子どもたちを見守るようになっていきました。また、私たちも常時自転車に乗ってパトロール中、その力をつけて走っているかと思われ、その抑止力に前にもなっているかと思われ、子どもたちの安全が保たれていることに感謝しています。遊んでいられたら、この「子ども110番の家」に学校・PTA・地域が協力して取り組むことよくなって子どもに対する考え方の意識が高くなっていると感じます。

武田

昨年六月に取り組み始め、十月にはステッカーを貼れ、校区的な町会の方々が子どもたちを見守るようになっていきました。また、私たちも常時自転車に乗ってパトロール中、その力をつけて走っているかと思われ、その抑止力に前にもなっているかと思われ、子どもたちの安全が保たれていることに感謝しています。遊んでいられたら、この「子ども110番の家」に学校・PTA・地域が協力して取り組むことよくなって子どもに対する考え方の意識が高くなっていると感じます。

幸地

この「子ども110番の家」に学校・PTA・地域が協力して取り組むことよくなって子どもに対する考え方の意識が高くなっていると感じます。

司会

私も「子ども110番の家」に地域として協力できることはたいへん嬉しいです。こういう活動は継続することが一番大切ですが、今後も「子ども110番の家」を定期的な話題にして、ステッカーの協力を促していただいている方や地域の安全について意識をますます高めたいと思います。

渡辺

依頼があった時には責任を感じました。嬉しかったことです。地域として子どもたちを守ることに繋がると思っています。

司会

声かけは子どもだけでなく高齢者にもしていただきたい。そうすることによって、やさしい地域がさだっていくのにはないでしょうか。今日は皆様の話を伺って、子どもに対する熱い思いを感じる事ができました。

松嶋

夏休み中はお祭の時など不審者が出た。警察の方でもよろしくお願いいたします。

司会

夏休み中は開放的になって夜遅く外に遊ぶ子どもをみかけますので、ひと声かけて注意を促しましょう。また、この近頃は夜も明るい道が多く、警察も巡回して見守っています。比較的安心ですが、これからはやさしい地域と学校であるように努力していきたいですね。

※「子ども110番の家」座談会出席者(敬称略)

- 角田(千鳥小学校長) 印南 松嶋 原田 長谷川 武田 種村 李野 尾崎 佐藤(千鳥小PTA) 幸地(池上警察) 大森 渡辺(千鳥南町会)

